

# 学校法人 甲南女子学園

## 2025年度事業報告



# 目次 Contents

## I . 法人の概要 (P2)

- ・ 建学の理念等
- ・ 学校法人の沿革
- ・ 学校等の状況
- ・ 学園役員 (理事・監事) の概要
- ・ 評議員の概要
- ・ 内部統制システムの整備及び運用状況の概要
- ・ 教職員の概要

## II . 事業の概要 (P7)

- ・ 建学の理念の実現に向けて
- ・ 長期ビジョン2030
- ・ 第6次中期計画 (2024~2026年度)
- ・ 2025年度の主な取組等
  1. 教育の質の向上
  2. 情報収集機能の強化
  3. 学外への情報発信力の強化
  4. 組織体制の強化
  5. 財務基盤のさらなる強化
  6. 甲南女子高等学校・中学校の主な取組等

## III . 財務の概要 (P10)

- ・ 2025年度の決算の概要
  1. 貸借対照表の概要
  2. 事業活動収支計算書の概要
  3. 資金収支計算書の概要
  4. 活動区分資金収支計算書の概要
- ・ 財務比率の推移
  1. 貸借対照表関係比率
  2. 事業活動収支計算書関係比率

# I. 法人の概要

## 建学の理念等

### 甲南女子学園の歩み

甲南女子学園は、企業家でありながら教育にも広く力を尽くした安宅彌吉（あたく・やきち）により、1920年（大正9年）に「甲南高等女学校」として創立されました。1964年（昭和39年）には甲南女子大学を開学し、中学校・高等学校・大学・大学院で構成される女子総合学園へと発展し、現在の姿に至ります。

本学園は創立以来、建学の理念の実現につとめ、誠実で品位ある女性を数多く育て、世に送り出し、社会の信頼と期待に応えてきました。今後も、「清く正しく優しく強く」という校訓を体現し、生き抜く力を持つ自律した女性の育成に努めます。

### 建学の理念

#### 建学の精神

まことの人間をつくる

#### 校訓

清く正しく優しく強く

#### 教育方針

全人教育 個性尊重 自学創造

### 教育理念

#### 甲南女子大学の使命

建学の理念を基盤に、品格と国際性を備え、社会に貢献する高い志を持つ女性を育成する

- 人としての教養と常識を基本に、確かな専門知識を養い、社会で活躍できる基礎力を育てる
- 内から輝く個性を磨き、人間愛を持って他に尽くす、思いやりの心を育てる
- 自ら学び考えることで主体性と創造性を育み、実践的な知識・技能・判断力および学術的探究心を育てる

#### 甲南女子中学校・高等学校の使命

建学の理念を基盤に、知性品格を備え、人生や社会に対して前向きに取り組む自立した女性を育成する

- 人としての教養と常識を基本に、中等教育にふさわしい学力を養い、個性や適性に応じた進路志望を自覚し実現する力を育てる
- 内から輝く個性を磨き、人間愛を持って他に尽くす、思いやりの心を育てる
- 自ら学び考える姿勢を育み、社会の中で人と協同して、主体的に生きていく力を育てる

#### 学生がめざす姿

- 自分自身に誠実であり、他者に対しても誠実なコミュニケーションができる
- マナーを身につけ、正しいことを貫く意志を持ち、しなやかに対応することができる
- 広い視野を持ち、自分と異なるものを理解・受容し、他のために努力することができる
- 失敗を恐れず、チャレンジする勇気とパワーを発揮することができる

## 学校法人の沿革

1920（大正 9）年	甲南高等女学校設立認可
1921（大正10）年	財団法人甲南学園高等女学校設立認可
1942（昭和17）年	旧制専攻科設置発足
1947（昭和22）年	甲南女子中学校併設認可
1948（昭和23）年	新制女子高等学校設立認可 財団法人の名称を財団法人甲南女子学園と改称
1950（昭和25）年	新制専攻科設置発足
1951（昭和26）年	財団法人を学校法人甲南女子学園に組織変更認可
1955（昭和30）年	甲南女子短期大学設置認可、甲南女子短期大学開学
1964（昭和39）年	甲南女子大学開学、大学を東灘区本山町田中より現在地に移転 文学部国文学科、英文学科を開設
1968（昭和43）年	甲南女子中学校・高等学校を東灘区本山町田中より現在地に移転
1974（昭和49）年	短期大学を短期大学部へ名称変更
1975（昭和50）年	大学院文学研究科修士課程を開設 文学部に人間関係学科を開設
1977（昭和52）年	大学院文学研究科博士後期課程を開設
1978（昭和53）年	文学部にフランス文学科を開設
2001（平成13）年	文学部に多文化共生学科を開設 人間科学部心理学科、人間教育学科、行動社会学科、人間環境学科を開設
2002（平成14）年	甲南女子大学短期大学部を廃止
2006（平成18）年	文学部にメディア表現学科を開設 人間科学部に総合子ども学科を開設
2007（平成19）年	看護リハビリテーション学部看護学科、理学療法学科を開設
2008（平成20）年	甲南女子中学校・高等学校にSアドバンストコースとスタンダードコースを開設
2012（平成24）年	大学院看護学研究科修士課程を開設
2012（平成24）年	甲南女子中学校・高等学校新校舎竣工
2018（平成30）年	医療栄養学部医療栄養学科を開設 大学院看護学研究科博士後期課程を開設
2020（令和02）年	国際学部国際英語学科、多文化コミュニケーション学科を開設
2025（令和07）年	心理学部心理学科を開設

※上表には、大学院・大学における研究科・学部・学科の名称変更や廃止等の記載は省略しております。  
現在（2025年5月1日）の研究科・学部・学科構成は、P4「学校等の状況」をご参照ください。

# 学校等の状況

## 学校・学部・学科等の学生（生徒）数の状況（2025年5月1日現在）

単位（人）

学校名	研究科・学部	専攻・学科	入学定員	入学者数	収容定員	在籍者数	
大学院	人文科学総合研究科 博士後期課程	言語・文学専攻	3	0	9	0	
		心理・教育学専攻	3	0	9	0	
		社会・文化環境学専攻	3	0	9	4	
	人文科学総合研究科 博士前期課程	言語・文学専攻	9	1	18	2	
		心理・教育学専攻	13	9	26	18	
		社会・文化環境学専攻	9	0	18	1	
	看護学研究科博士後期課程	看護学専攻	3	2	9	12	
	看護学研究科博士前期課程	看護学専攻	5	4	10	6	
	大学院合計		48	16	108	43	
	甲南女子大学	文学部	日本語日本文化学科	80	61	320	276
			英語文化学科※1	—	—	—	2
			多文化コミュニケーション学科 ※1	—	—	—	—
メディア表現学科			70	72	280	324	
合計			150	133	600	602	
国際学部		国際英語学科	110	65	440	276	
		多文化コミュニケーション学科	80	85	320	322	
		合計	190	150	760	598	
学 部		人間科学部	心理学科※2	—	—	270	258
			総合子ども学科	150	108	600	454
			文化社会学科	80	105	320	312
			生活環境学科	80	73	320	329
	合計		310	286	1,510	1,353	
	心理学部	心理学科※3	90	113	90	113	
		合計	90	113	90	113	
	看護リハビリテーション学部	看護学科	100	112	400	435	
		理学療法学科	60	37	240	177	
		合計	160	149	640	612	
医療栄養学部	医療栄養学科	80	80	320	338		
	合計	80	80	320	338		
学部合計		980	911	3,920	3,616		
大学合計		1,028	927	4,028	3,659		
甲南女子高等学校	全日制課程	普通科	180	191	540	516	
甲南女子中学校			180	168	540	524	
総合計			1,388	1,286	5,108	4,699	

(※1) 2020年度募集停止

(※2) 2025年度募集停止

(※3) 2025年度設置

## 学園役員（理事・監事）の概要

2025年6月26日現在

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	杉山 健博	理事	樽本 和美
副理事長	太田垣 英士	理事	小野 由稀
理事	秋元 典子	理事	長坂 悦敬
理事	米田 明美	理事	小西 新右衛門
理事	山田 則夫	監事	松村 弘三
理事	豊 広明	監事	辰馬 有美子

定数 理事9～14人・監事2～3人

### ■役員賠償責任保険契約について

- ・私立学校法に従い、2020年4月1日より私大協役員等賠償責任保険契約に加入<2025年度更新済>  
(団体契約者：日本私立大学協会 記名法人：学校法人甲南女子学園 個人被保険者：上記役員等)
- ・支払対象とならない場合として、法律違反に起因する事由等の定めを記載

## 評議員の概要

2025年6月26日現在

役職名	氏名	役職名	氏名
評議員	馬場 伸彦	評議員	角谷 尚美
評議員	不破 和子	評議員	近藤 三津枝
評議員	豊嶋 忠	評議員	平山 一哉
評議員	奈良山 和子	評議員	具 英成
評議員	尾埜 典枝	評議員	石岡 佑佳美
評議員	浦濱 恭子	評議員	坂口 行洋

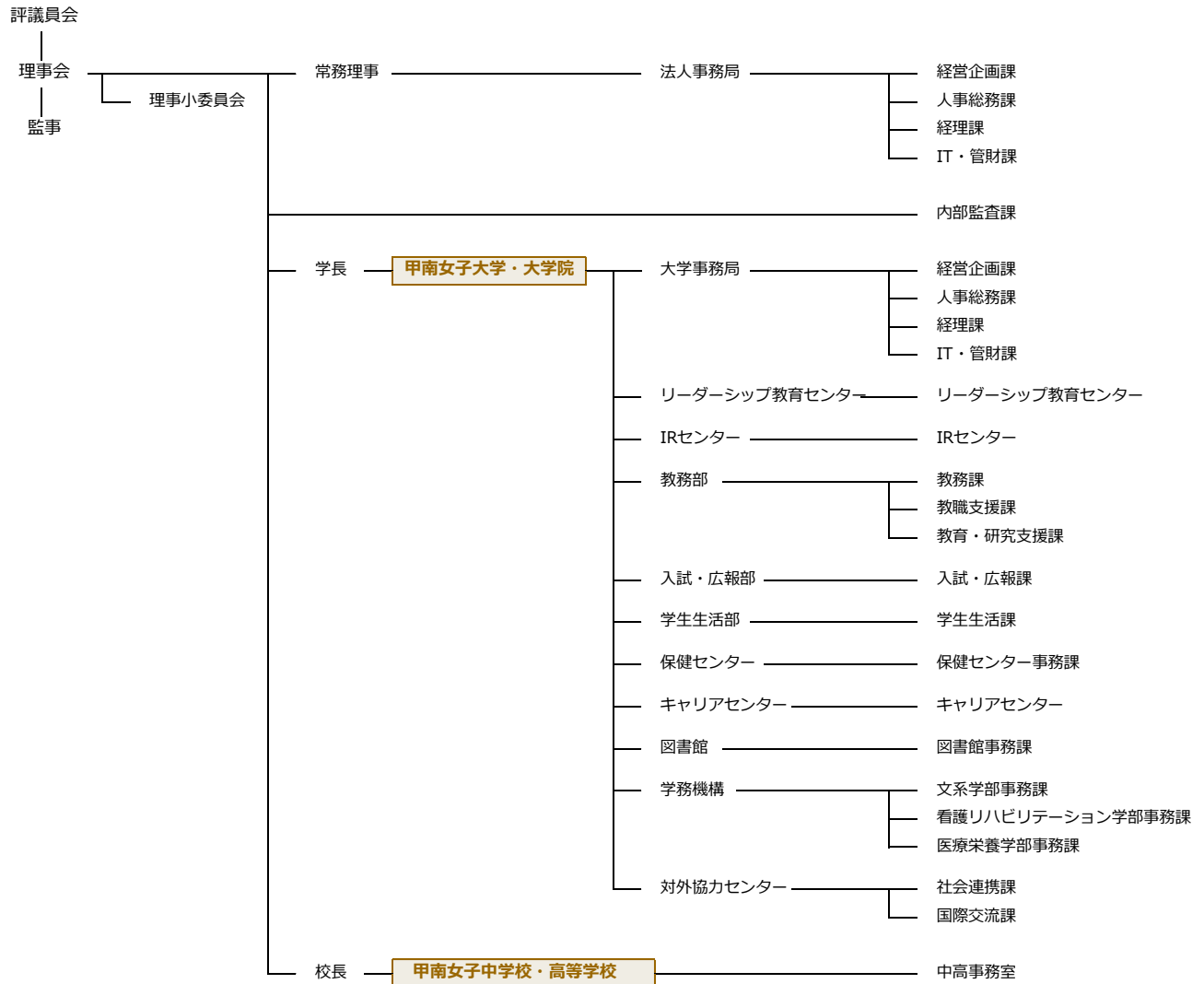
定数 評議員10～15人

## 内部統制システムの整備及び運用状況の概要

- ・内部統制システム整備の一環として制定/改正された規程に基づき、内部監査課を独立した位置づけにするとともに、その旨を組織図にも明示した。
- ・「甲南女子学園監事監査規程」「甲南女子学園内部監査規程」などに基づき2025年度の内部監査実施計画を定め、5月・10月に会計監査、6月に公的研究費内部監査、7月から11月にかけて業務監査を実施し、概ね計画どおり進めることができた。

# 教職員の概要

## 学校法人組織図 (2026年3月31日現在)



## 専任教職員数 (2025年5月1日現在)

### ■ 甲南女子大学 (教員)

単位 (人)

学部	教授	准教授	講師	助教	助手	合計
文学部	9	6	6	0	0	21
国際学部	14	4	2	0	0	20
人間科学部	23	7	4	1	0	35
心理学部	6	5	2	1	0	14
看護リハビリテーション学部	17	12	9	11	1	50
医療栄養学部	5	4	4	2	1	16
合計	74	38	27	15	2	156

### ■ 甲南女子中学校・高等学校 (教員)

単位 (人)

校長	副校長	教頭	教諭	講師等	合計
1	1	2	50	8	62

### ■ 職員

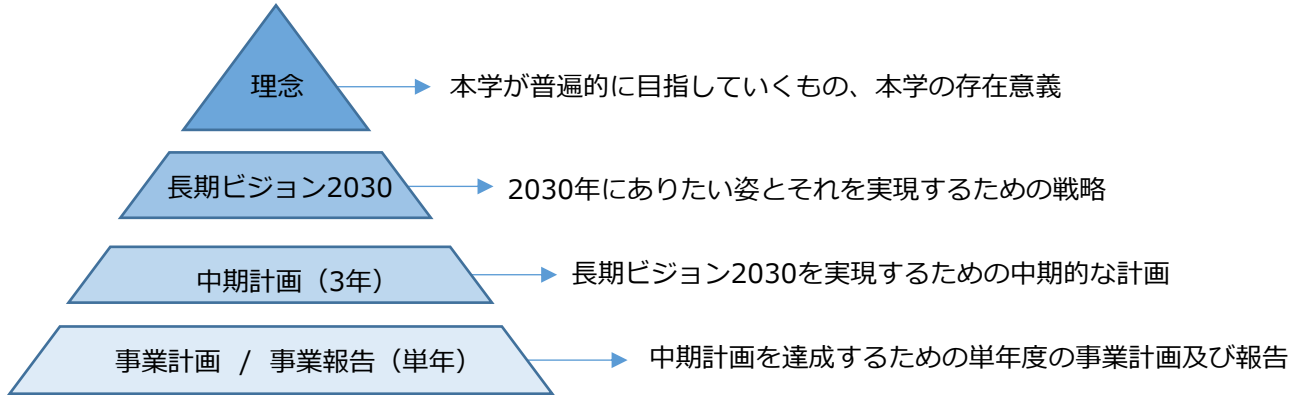
単位 (人)

専任	その他	合計
79	21	100

## II. 事業の概要

### 建学の理念の実現に向けて

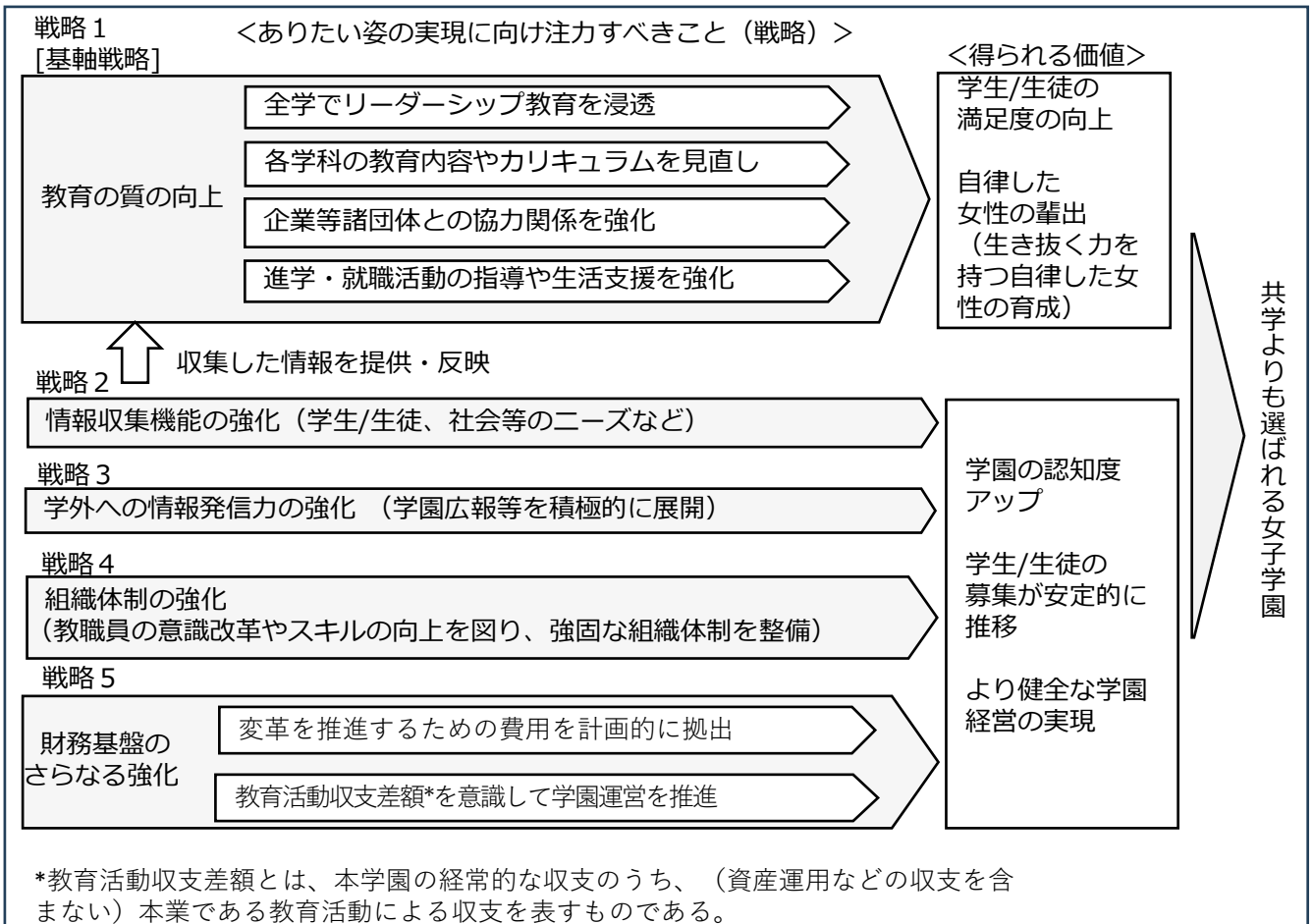
長期ビジョン2030で2030年にありたい姿とそれを実現するための戦略を定め、その上で、中期計画（3年）で長期ビジョンの実現に向けたロードマップを描く。そして、事業計画（単年）で中期計画を達成するための単年度計画を策定するとともに、事業報告（単年）で事業計画の成果や課題を把握する。



### 長期ビジョン2030

#### 2030年にありたい姿

少子化の進展や女性の社会進出、DXの加速化など近年の社会経済環境の変化を踏まえながら、学園を挙げて変革を推し進め、教育の質の向上等を通じて、学生/生徒の満足度を高めるとともに自律した女性を輩出することにより、「共学よりも選ばれる女子学園」となることを目指していく。



\*教育活動収支差額とは、本学園の経常的な収支のうち、（資産運用などの収支を含まない）本業である教育活動による収支を表すものである。

## 第6次中期計画（2024～2026年度）

「2030年にありたい姿」の実現に向け、第6次中期計画（2024～2026年度）において下表の各戦略の重点施策を推し進めていく。

戦略	重点施策
1. 教育の質の向上	「リーダーシップの甲南女子大学」を徹底
	各学科及び中高の教育内容や教育カリキュラムを見直し
	企業等諸団体との協力関係を強化
	進学及び就職活動や学生/生徒生活を支援
	教学マネジメントを強化
2. 情報収集機能の強化	志願者、学生/生徒のニーズの収集機能を強化
	保証人/保護者のニーズの収集機能を強化
	社会、企業のニーズの収集機能を強化
	マーケット情報の収集機能を強化
3. 学外への情報発信力の強化	各ニーズの分析に基づく広報を展開
	学生/生徒や社会が興味を持つ話題の創出と発信
4. 組織体制の強化	教職員一人ひとりのスキルアップ
	当事者意識の向上
	ガバナンス体制を強化
5. 財務基盤のさらなる強化	変革を推進するための費用を計画的に拠出
	教育活動収支差額を意識して収支の適正化を実施

## 2025年度の主な取組等

### 1. 教育の質の向上

- ・リーダーシップ教育の司令塔として、リーダーシップ教育センターを新設し、リーダーシップ科目の全員受講体制を円滑に運営した。
- ・リーダーシップ教育を全てのオープンキャンパスでPRしたほか、上記のセンターが中心となって「新リーダーシップ教育の甲南女子大学」の認知を高めるための具体的な取組を推し進めた。
- ・各学科の教育内容や教育カリキュラムについて、学生等のニーズを踏まえながら継続的に見直しを行い、各学科の競争力を高めた。
- ・社会連携活動について2025年度のテーマを設定し、それに基づき企業・自治体等と新たな連携やイベントを行った。
- ・企業セミナーの参加企業数を増やすとともに、内容をより充実させた。
- ・就職実績をより高めるために、キャリア科目の受講を推奨し、キャリア形成に対する早期の意識付けを図った。
- ・国家試験の合格率や資格取得者数等を向上させるために個別指導の強化等を推し進めた。
- ・学生の満足度を更に高めるために様々な新しい施策を実施した。
- ・アセスメントプラン（評価方針）に基づき学生の学修成果等の達成状況を確認するとともに、可視化を行い、その分析結果（成果と課題）を学内外に公表した。

### 2. 情報収集機能の強化

- ・各種情報の一元管理・分析・提案を行う組織として、IRセンターを新設した。
- ・各学科や各部門が目的達成のために収集した情報を上記のセンターに集約し、同センターは、これを分析した上で学内に共有を図った。

### 3. 学外への情報発信力の強化

- ・新設する学部の情報発信や本学の認知度向上等に向け、マス広告（TVCM・交通広告）やWeb広告などを積極的に推し進めた。
- ・リーダーシップ教育をはじめ、改組等の動き、就職の実績、企業等と連携した取組、高い学生満足度などをテーマにして、「動きのある甲南女子大学」を訴求した。
- ・本学からマスコミへのニュースリリース件数や各種媒体における本学関連記事の掲載数を増やした。

### 4. 組織体制の強化

- ・職員新人事制度の2026年度からの導入に向け、説明会や研修など必要な準備を行った。
- ・組織の大括り化をはじめ、引き続き組織再編を推し進めた。
- ・本学の状況や取り巻く環境等について、定量的な資料を用いて教職員に繰り返し説明した。
- ・変更後の寄附行為に基づき、新たな体制を整備し、学園運営を円滑に進めた。

### 5. 財務基盤のさらなる強化

- ・教育の質の向上や魅力ある学習環境の整備、情報発信力の強化等を推し進めるため、これらにかかる費用を積極的かつ計画的に拠出した。
- ・その一方で、収支の適正化を図るため、各種収入の増加に努めるとともに、経常的な経費や更新投資の削減を推し進めた。

### 6. 甲南女子中学校・高等学校の主な取組等

- ・基礎学力を強化するための講習や習熟度別授業の導入を推し進めた。
- ・生徒の進路志望の実現を図るための取組を強化した。
- ・理系の進路を志す生徒のニーズに応えていくため、甲南大学との高大連携を推し進めた。
- ・中長期海外留学制度を拡充した。
- ・教員を対象に、DAL（ディープアクティブラーニング）の授業の研修を実施した。
- ・ICTの活用を通じて、学習時間の可視化と保護者との連携強化を推し進めた。

### Ⅲ. 財務の概要

## 2025年度の決算の概要

2025年度は、収入面では、学生生徒数が減少したため学生生徒等納付金収入が減少しました。一方の費用面では、第6次中期計画に基づき、「教育の質の向上」や「学外への情報発信力の強化」等を図るために積極的に支出を行いました。これらの結果、教育活動収支差額は赤字となりました。

ただ、資産運用において受取利息・配当金などが増加したことから、当年度の収支差額は36百万円の黒字となりました。

※ 金額は表示単位未満を四捨五入しているため、各項目の金額の合計が総額と一致しない場合があります。

### 1. 貸借対照表の概要

貸借対照表は、年度末における学校法人の資産、負債、純資産（基本金及び繰越収支差額）を対照する計算書で、これまで学校法人が行ってきた活動の積み重ねの財政状況を表しています。

単位（千円）

資産の部				負債の部			
科目	2025年度	2024年度	差異	科目	2025年度	2024年度	差異
固定資産	47,572,447	47,773,749	△ 201,302	固定負債	1,191,742	1,207,178	△ 15,437
有形固定資産	22,308,455	22,191,804	116,651	退職給与引当金	1,191,742	1,207,178	△ 15,437
土地	5,442,222	5,442,222	0	流動負債	1,996,149	1,852,511	143,639
建物	11,787,267	11,635,843	151,425	前受金	989,496	899,054	90,443
構築物	955,806	1,012,797	△ 56,991	未払金	520,019	751,593	△ 231,574
機器備品	1,219,724	1,210,147	9,577	賞与引当金	297,499	0	297,499
図書	2,889,074	2,876,055	13,019	その他	189,135	201,864	△ 12,729
その他	14,361	14,740	△ 378	<b>負債の部合計</b>	<b>3,187,891</b>	<b>3,059,689</b>	<b>128,202</b>
特定資産	17,342,295	18,104,725	△ 762,430	<b>純資産の部</b>			
その他の固定資産	7,921,698	7,477,221	444,477	基本金	46,569,992	46,725,364	△ 155,371
有価証券	7,852,955	7,437,784	415,172	第1号基本金	41,950,134	41,581,727	368,408
ソフトウェア	23,067	6,390	16,676	第2号基本金	1,965,858	2,489,637	△ 523,779
その他	45,676	33,046	12,629	第3号基本金	2,210,000	2,210,000	0
流動資産	7,778,277	7,412,575	365,701	第4号基本金	444,000	444,000	0
現金預金	7,431,800	7,186,321	245,479	繰越収支差額	5,592,841	5,401,272	191,569
未収入金	265,518	163,291	102,227	翌年度繰越収支差額	5,592,841	5,401,272	191,569
その他	80,959	62,964	17,995	<b>純資産の部合計</b>	<b>52,162,833</b>	<b>52,126,635</b>	<b>36,198</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>55,350,724</b>	<b>55,186,324</b>	<b>164,400</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>55,350,724</b>	<b>55,186,324</b>	<b>164,400</b>

2025年度末の資産は、有形固定資産が22,308百万円、特定資産が17,342百万円、その他の固定資産が7,922百万円、流動資産が7,778百万円で、その総額は55,351百万円となり、昨年度末から164百万円増加しました。

一方負債は、固定負債が1,192百万円、流動負債が1,996百万円で、その総額は3,188百万円となり、昨年度末から128百万円増加しました。

また、基本金は、第1号基本金が368百万円増加して41,950百万円、第2号基本金は524百万円を第1号基本金へ振り替えて1,966百万円、第3号基本金と第4号基本金は増減がなくそれぞれ2,210百万円と444百万円で、その総額は46,570百万円となりました。繰越収支差額は昨年度末より192百万円増加して5,593百万円となり、その結果、純資産総額は52,163百万円となりました。

## 過去5年間の推移

単位(千円)

科目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
固定資産	44,551,320	46,152,826	47,645,129	47,773,749	47,572,447
流動資産	8,258,161	7,924,336	6,959,669	7,412,575	7,778,277
<b>資産の部合計</b>	<b>52,809,481</b>	<b>54,077,162</b>	<b>54,604,798</b>	<b>55,186,324</b>	<b>55,350,724</b>
固定負債	1,178,096	1,182,980	1,197,136	1,207,178	1,191,742
流動負債	1,837,581	1,839,766	1,697,013	1,852,511	1,996,149
<b>負債の部合計</b>	<b>3,015,677</b>	<b>3,022,746</b>	<b>2,894,149</b>	<b>3,059,689</b>	<b>3,187,891</b>
基本金	43,634,974	45,326,787	46,682,872	46,725,364	46,569,992
翌年度繰越収支差額	6,158,829	5,727,629	5,027,778	5,401,272	5,592,841
<b>純資産の部合計</b>	<b>49,793,804</b>	<b>51,054,416</b>	<b>51,710,650</b>	<b>52,126,635</b>	<b>52,162,833</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>52,809,481</b>	<b>54,077,162</b>	<b>54,604,798</b>	<b>55,186,324</b>	<b>55,350,724</b>

## 2. 事業活動収支計算書の概要

事業活動収支計算書は、当該年度の事業収入・支出を「教育活動収支」「教育活動外収支」「特別収支」に区分し、それぞれの収支の状態を明らかにするとともに、学校法人の純資産の増減を表しています。

単位(千円)

科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異		
教育活動収支	学生生徒等納付金	5,600,318	5,597,208	3,110	特別収支	資産売却差額	0	0	
	手数料	77,650	83,889	△ 6,239		その他の特別収入	28,114	36,019	△ 7,905
	寄付金	20,000	24,318	△ 4,318		特別収入 計	28,114	36,019	△ 7,905
	経常費等補助金	1,177,300	1,201,364	△ 24,064		資産処分差額	25,000	83,238	△ 58,238
	付随事業収入	1,500	1,923	△ 423		その他の特別支出	279,044	279,044	0
	雑収入	185,295	193,584	△ 8,289		特別支出 計	304,044	362,282	△ 58,238
	教育活動収入 計	7,062,063	7,102,286	△ 40,223		特別収支差額	△ 275,930	△ 326,263	50,333
	人件費	3,763,659	3,743,028	20,631		予備費(※)	(0)		50,000
	教育研究経費	2,872,731	2,859,893	12,838			50,000		
	管理経費	1,032,273	1,007,965	24,308		<b>基本金組入前当年度収支差額</b>	<b>△ 71,510</b>	<b>36,198</b>	<b>△ 107,708</b>
	徴収不能額等	0	232	△ 232		基本金組入額	△ 1,183,419	0	△ 1,183,419
	教育活動支出 計	7,668,663	7,611,118	57,545		<b>当年度収支差額</b>	<b>△ 1,254,929</b>	<b>36,198</b>	<b>△ 1,291,127</b>
	<b>教育活動収支差額</b>	<b>△ 606,600</b>	<b>△ 508,832</b>	<b>△ 97,768</b>		前年度繰越収支差額	5,401,271	5,401,272	△ 1
教育活動外収支	受取利息・配当金	591,020	594,504	△ 3,484	基本金取崩額	590,744	155,371	435,373	
	その他の教育活動外収入	270,000	276,788	△ 6,788	翌年度繰越収支差額	4,737,086	5,592,841	△ 855,755	
	教育活動外収入 計	861,020	871,293	△ 10,273	(参考)				
	借入金等利息	0	0	0	<b>事業活動収入 計</b>	<b>7,951,197</b>	<b>8,009,598</b>	<b>△ 58,401</b>	
その他の教育活動外支出	0	0	0	<b>事業活動支出 計</b>	<b>8,022,707</b>	<b>7,973,400</b>	<b>49,307</b>		
教育活動外支出 計	0	0	0	※予備費の上段( )内は使用額、下段は残高です。 使用額は使用した科目の予算額に加算されています。					
教育活動外収支差額	861,020	871,293	△ 10,273						
<b>経常収支差額</b>	<b>254,420</b>	<b>362,461</b>	<b>△ 108,041</b>						

学校法人の本業である教育研究活動による収支を表している教育活動収支差額は、学生生徒等納付金や補助金等の収入の合計7,102百万円から人件費、教育研究経費、管理経費等の費用の合計7,611百万円を差し引いた結果、509百万円の支出超過となりました。

財務活動による収支を表している教育活動外収支差額は受取利息・配当金及び為替差益の合計871百万円であり、教育活動収支差額と教育活動外収支差額の合計である経常収支差額は362百万円の収入超過となりました。

臨時的な収支を表している特別収支差額は、施設設備に関する寄付金等の収入の合計36百万円から資産処分差額及び賞与引当金特別繰入額の合計362百万円を差し引いた結果、326百万円の支出超過となり、経常収支差額と特別収支差額の合計である基本金組入前当年度収支差額は36百万円の収入超過となりました。

## 過去5年間の推移

単位(千円)

科 目		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
教育活動収支	学生生徒等納付金	6,594,732	6,331,487	5,957,041	5,796,302	5,597,208
	手数料	93,234	78,463	77,167	83,625	83,889
	寄付金	17,479	4,750	9,853	29,732	24,318
	経常費等補助金	810,389	837,878	888,223	899,347	1,201,364
	付随事業収入	67,285	57,432	36,358	2,473	1,923
	雑収入	101,186	226,992	181,824	165,417	193,584
	教育活動収入 計	7,684,305	7,537,002	7,150,465	6,976,896	7,102,286
	人件費	3,789,642	3,908,868	3,803,505	3,722,586	3,743,028
	教育研究経費	2,423,075	2,460,799	2,445,845	2,659,232	2,859,893
	管理経費	849,260	834,539	886,689	932,627	1,007,965
	徴収不能額等	0	99	1,837	408	232
	教育活動支出 計	7,061,977	7,204,305	7,137,875	7,314,853	7,611,118
	<b>教育活動収支差額</b>	<b>622,328</b>	<b>332,697</b>	<b>12,589</b>	<b>△ 337,957</b>	<b>△ 508,832</b>
教育活動外収支	受取利息・配当金	359,798	413,948	434,507	534,969	594,504
	その他の教育活動外収入	0	558,093	310,100	239,650	276,788
	教育活動外収入 計	359,798	972,041	744,607	774,619	871,293
	借入金等利息	0	0	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
	教育活動外支出 計	0	0	0	0	0
	教育活動外収支差額	359,798	972,041	744,607	774,619	871,293
<b>経常収支差額</b>	<b>982,126</b>	<b>1,304,738</b>	<b>757,197</b>	<b>436,662</b>	<b>362,461</b>	
特別収支	資産売却差額	0	0	0	0	0
	その他の特別収入	40,434	35,884	50,432	29,099	36,019
	特別収入 計	40,434	35,884	50,432	29,099	36,019
	資産処分差額	58,609	80,010	151,395	49,776	83,238
	その他の特別支出	0	0	0	0	279,044
	特別支出 計	58,609	80,010	151,395	49,776	362,282
	特別収支差額	△ 18,175	△ 44,126	△ 100,963	△ 20,676	△ 326,263
<b>基本金組入前当年度収支差額</b>	<b>963,951</b>	<b>1,260,612</b>	<b>656,234</b>	<b>415,986</b>	<b>36,198</b>	
基本金組入額	△ 171,923	△ 1,691,812	△ 1,600,000	△ 100,000	0	
<b>当年度収支差額</b>	<b>792,028</b>	<b>△ 431,200</b>	<b>△ 943,766</b>	<b>315,986</b>	<b>36,198</b>	
前年度繰越収支差額	5,366,802	6,158,829	5,727,629	5,027,778	5,401,272	
基本金取崩額	0	0	243,915	57,508	155,371	
翌年度繰越収支差額	6,158,829	5,727,629	5,027,778	5,401,272	5,592,841	
(参考)						
<b>事業活動収入 計</b>	<b>8,084,537</b>	<b>8,544,927</b>	<b>7,945,504</b>	<b>7,780,614</b>	<b>8,009,598</b>	
<b>事業活動支出 計</b>	<b>7,120,586</b>	<b>7,284,315</b>	<b>7,289,271</b>	<b>7,364,629</b>	<b>7,973,400</b>	

### 3. 資金収支計算書の概要

資金収支計算書は、当該年度の諸活動にかかる全ての資金収入・支出の内容を明らかにするとともに、資金収支の結果を表しています。

単位(千円)

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	5,600,318	5,597,208	3,110	人件費支出	3,740,010	3,740,010	0
手数料収入	77,650	83,889	△ 6,239	教育研究経費支出	2,138,358	2,134,442	3,916
寄付金収入	35,000	41,071	△ 6,071	管理経費支出	987,710	973,113	14,597
補助金収入	1,190,414	1,214,478	△ 24,064	借入金等利息支出	0	0	0
資産売却収入	4,293,000	4,691,925	△ 398,925	借入金等返済支出	0	0	0
付随事業・収益事業収入	1,500	1,923	△ 423	施設関係支出	848,770	709,168	139,602
受取利息・配当金収入	591,020	594,504	△ 3,484	設備関係支出	334,649	261,549	73,100
雑収入	455,295	470,372	△ 15,077	資産運用支出	4,048,534	4,394,462	△ 345,928
借入金等収入	0	0	0	その他の支出	1,078,719	997,249	81,470
前受金収入	936,560	989,496	△ 52,936	予備費(※)	(1,874)		48,126
その他の収入	553,946	406,486	147,460		48,126		
資金収入調整勘定	△ 1,066,237	△ 1,165,402	99,165	資金支出調整勘定	△ 600,476	△ 529,522	△ 70,954
前年度繰越支払資金	7,186,320	7,186,321	△ 1	翌年度繰越支払資金	7,230,386	7,431,800	△ 201,414
<b>収入の部合計</b>	<b>19,854,786</b>	<b>20,112,271</b>	<b>△ 257,485</b>	<b>支出の部合計</b>	<b>19,854,786</b>	<b>20,112,271</b>	<b>△ 257,485</b>

※予備費の上段( )内は使用額、下段は残高です。  
使用額は使用した科目の予算額に加算されています。

収入は、学生生徒等納付金収入や補助金収入に資産売却収入(有価証券の満期償還)等を加え、12,926百万円となりました。これに対し支出は、人件費支出や教育研究経費支出、管理経費支出に資産運用支出等を加え、12,680百万円となりました。その結果、収入から支出を差し引いた246百万円が前年度繰越支払資金に上乗せされ、合計の7,432百万円が翌年度に繰り越されます。

### 過去5年間の推移

#### 収入の部

単位(千円)

#### 支出の部

単位(千円)

科目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	科目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
学生生徒等納付金収入	6,594,732	6,331,487	5,957,041	5,796,302	5,597,208	人件費支出	3,768,614	3,903,984	3,789,348	3,712,544	3,740,010
手数料収入	93,234	78,463	77,167	83,625	83,889	教育研究経費支出	1,574,643	1,666,556	1,718,986	1,952,723	2,134,442
寄付金収入	43,279	30,824	45,953	47,750	41,071	管理経費支出	792,603	786,401	848,311	894,984	973,113
補助金収入	819,504	837,878	892,223	899,347	1,214,478	借入金等利息支出	0	0	0	0	0
資産売却収入	3,910,294	5,916,446	3,055,331	3,158,614	4,691,925	借入金等返済支出	0	0	0	0	0
付随事業・収益事業収入	67,285	57,432	36,358	2,473	1,923	施設関係支出	177,312	206,058	175,108	631,523	709,168
受取利息・配当金収入	359,798	413,948	434,507	534,969	594,504	設備関係支出	281,723	232,562	212,232	220,837	261,549
雑収入	100,843	785,085	491,726	405,067	470,372	資産運用支出	4,713,999	8,345,744	5,198,558	3,274,457	4,394,462
借入金等収入	0	0	0	0	0	その他の支出	771,794	885,136	943,925	806,657	997,249
前受金収入	973,121	902,270	896,595	899,054	989,496	資金支出調整勘定	△ 568,741	△ 658,219	△ 584,701	△ 761,934	△ 529,522
その他の収入	537,987	759,355	624,006	452,240	406,486	翌年度繰越支払資金	8,020,835	7,570,479	6,699,047	7,186,321	7,431,800
資金収入調整勘定	△ 1,176,892	△ 1,195,323	△ 1,080,572	△ 1,060,377	△ 1,165,402	<b>支払の部合計</b>	<b>19,532,782</b>	<b>22,938,701</b>	<b>19,000,813</b>	<b>17,918,111</b>	<b>20,112,271</b>
前年度繰越支払資金	7,209,597	8,020,835	7,570,479	6,699,047	7,186,321						
<b>収入の部合計</b>	<b>19,532,782</b>	<b>22,938,701</b>	<b>19,000,813</b>	<b>17,918,111</b>	<b>20,112,271</b>						

## 4. 活動区分資金収支計算書の概要

単位 (千円)

科目		金額
教育活動による資金収支	学生生徒等納付金収入	5,597,208
	手数料収入	83,889
	特別寄付金収入	1,866
	一般寄付金収入	20,705
	経常費等補助金収入	1,201,364
	付随事業収入	1,923
	雑収入	193,584
	<b>教育活動資金収入計</b>	<b>7,100,539</b>
	人件費支出	3,740,010
	教育研究経費支出	2,134,442
	管理経費支出	973,113
	<b>教育活動資金支出計</b>	<b>6,847,565</b>
	差引	252,975
	調整勘定等	△ 273,064
<b>教育活動資金収支差額</b>	<b>△ 20,089</b>	
施設設備等活動による資金収支	施設設備寄付金収入	18,500
	施設設備補助金収入	13,114
	<b>施設設備等活動資金収入計</b>	<b>31,614</b>
	施設関係支出	709,168
	設備関係支出	261,549
	施設拡充引当特定資産繰入支出	253,637
	減価償却引当特定資産繰入支出	306,937
	設備維持引当特定資産繰入支出	749,220
	<b>施設整備等活動資金支出計</b>	<b>2,280,511</b>
	差引	△ 2,248,897
	調整勘定等	△ 5,367
<b>施設設備等活動資金収支差額</b>	<b>△ 2,254,264</b>	
小計 (教育活動資金収支差額 + 施設整備等活動資金収支差額)		△ 2,274,353

科目		金額
その他の活動による資金収支	有価証券売却収入	4,691,925
	修学旅行預り資産取崩収入	51,786
	貸付金回収収入	60
	預り金受入収入	189,135
	仮払金収入	1,675
	<b>その他の活動資金収入計</b>	<b>4,934,580</b>
	有価証券購入支出	2,319,616
	退職給与引当特定資産繰入支出	415,256
	第3号基本金引当特定資産繰入支出	300,000
	修学旅行預り資産繰入支出	49,796
	預り金支払支出	201,864
	仮払金支出	2,065
	出資金支払支出	104
	<b>その他の活動資金支出計</b>	<b>3,288,701</b>
差引	1,645,880	
受取利息・配当金収入	594,504	
為替差益収入	276,788	
調整勘定等	2,660	
<b>その他の活動資金収支差額</b>	<b>2,519,833</b>	
支払資金の増減額 (小計 + その他の活動資金収支差額)		245,479
前年度繰越支払資金		7,186,321
翌年度繰越支払資金		7,431,800

## 過去5年間の推移

単位 (千円)

科目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
<b>教育活動による資金収支</b>					
教育活動資金収入計	7,683,962	7,537,002	7,150,267	6,975,414	7,100,539
教育活動資金支出計	6,135,860	6,356,941	6,356,645	6,560,251	6,847,565
差引	1,548,102	1,180,061	793,622	415,163	252,975
調整勘定等	△ 43,319	△ 192,742	79,214	127,617	△ 273,064
<b>教育活動資金収支差額</b>	<b>1,504,783</b>	<b>987,319</b>	<b>872,835</b>	<b>542,780</b>	<b>△ 20,089</b>
<b>施設設備等活動による資金収支</b>					
施設設備等活動資金収入計	34,915	26,075	41,206	19,500	31,614
施設整備等活動資金支出計	2,688,542	3,126,040	4,110,182	2,281,494	2,280,511
差引	△ 2,653,627	△ 3,099,965	△ 4,068,976	△ 2,261,994	△ 2,248,897
調整勘定等	79,134	83,121	△ 105,848	76,512	△ 5,367
<b>施設設備等活動資金収支差額</b>	<b>△ 2,574,493</b>	<b>△ 3,016,844</b>	<b>△ 4,174,824</b>	<b>△ 2,185,482</b>	<b>△ 2,254,264</b>
小計 (教育活動資金収支差額 + 施設整備等活動資金収支差額)	△ 1,069,710	△ 2,029,525	△ 3,301,989	△ 1,642,703	△ 2,274,353
<b>その他の活動による資金収支</b>					
その他の活動による資金収入計	4,683,876	7,546,794	4,202,647	4,207,220	5,805,873
その他の活動による資金支出計	2,802,661	5,967,699	1,768,997	2,077,321	3,288,701
差引	1,881,215	1,579,094	2,433,650	2,129,899	2,517,172
調整勘定等	△ 267	75	△ 3,093	78	2,660
<b>その他の活動資金収支差額</b>	<b>1,880,948</b>	<b>1,579,169</b>	<b>2,430,557</b>	<b>2,129,977</b>	<b>2,519,833</b>
支払資金の増減額 (小計 + その他の活動資金収支差額)	811,238	△ 450,356	△ 871,432	487,274	245,479
前年度繰越支払資金	7,209,597	8,020,835	7,570,479	6,699,047	7,186,321
翌年度繰越支払資金	8,020,835	7,570,479	6,699,047	7,186,321	7,431,800

# 財務比率の推移

## 1. 貸借対照表関係比率

単位 (%)

財務比率	算式 (×100)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{純負債} + \text{純資産}}$	94.3	94.4	94.7	94.5	94.2
運用資産余裕比率 (年)	$\frac{\text{運用資産} - \text{外部負債}}{\text{経常支出}}$	4.1	4.2	4.4	4.4	4.2
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	449.4	430.7	410.1	400.1	389.7
総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	5.7	5.6	5.3	5.5	5.8
前受金保有率	$\frac{\text{現金} \cdot \text{預金}}{\text{前受金}}$	836.7	851.9	755.0	805.1	756.1
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	99.6	99.5	99.7	99.6	99.9
積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	137.7	131.5	126.8	128.9	130.5

## 2. 事業活動収支計算書関係比率

単位 (%)

財務比率	算式 (×100)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
学生生徒納付金比率	$\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{経常収入}}$	82.0	74.4	75.5	74.8	70.2
寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	0.6	0.5	0.1	0.4	0.6
補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	10.1	9.8	11.2	11.6	15.2
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	47.1	45.9	48.2	48.0	46.9
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	30.1	28.9	31.0	34.3	35.9
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	10.6	9.8	11.2	12.0	12.6
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	12.2	15.3	9.6	5.6	4.5
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	11.9	14.8	8.3	5.3	0.5

以上